

News Release

2010年12月20日
デジタルサイネージ推進プロジェクト

報道関係各位

『駅デジタルサイネージネットワーク』に新コンテンツ登場！ ～“ライオンちゃん”が天気をお知らせします！～

- デジタルサイネージ推進プロジェクトは、本日(12/20)より、ライオン株式会社にご協力頂き、駅ナカのデジタルサイネージにおける天気情報を活用した広告表現手法の開発を目的とした展開を開始します。
- 同社の企業キャラクターである“ライオンちゃん”が、首都圏の主要駅に設置している「駅デジタルサイネージネットワーク」にて、天気予報や各種天気指数をお伝えします。
- 放映は2010年12月20日より2011年4月3日を予定しています。

■ 展開概要

1. 期間

2010年12月20日から2011年4月3日(予定)

2. 内容

デジタルサイネージ推進プロジェクト(鉄道会社及び鉄道系ハウスエージェンシー11社により構成)は、首都圏の主要駅に設置している「駅デジタルサイネージネットワーク」にて、駅ナカのデジタルサイネージにおける天気情報を活用した広告表現手法の開発を目的とした展開を、本日(12/20)から開始します。

これまでの実証実験により、キャラクターが大きく登場する表現は注目を獲得し、天気予報などの情報と連動した表現の場合、「好感を持った」「印象に残る」といった認知・態度変容に良い影響が期待できる事を確認しています。

今回、ライオン株式会社にご協力頂き、同社の企業キャラクターである“ライオンちゃん”が、天気予報や天気指数など天気情報とそれに関連した同社の商品とを連動させた広告表現が、駅ナカのデジタルサイネージにおいて高い広告効果を得ることができるとを検証したいと考えています。

放映する時間は、毎時15・45分の前後15秒(1回あたり30秒)で、広告表現は、天気予報や各種天気指数の情報を気象会社Webサイトからインターネット経由で取得し、取得した情報により自動で変更します。

3. 広告表現イメージ



■ 駅デジタルサイネージネットワークについて

1. 駅デジタルサイネージネットワークとは

駅デジタルサイネージネットワークとは、首都圏の鉄道および鉄道系ハウスエージェンシー11社で構成されるデジタルサイネージ推進プロジェクトが、共同企画・配信する、駅ナカのデジタルサイネージのモデル確立を目指す実証実験メディアです。2010年6月から1年間、各鉄道会社のご協力を得て、首都圏の主要駅に共通デザインのモニターを設置（20駅27台 ※一部既存設置機）し、効果的な広告表現およびコンテンツ、販売方法の試行展開を行い、顔認識システムの活用により、その効果測定を行う等、流動ある駅構内に適した次世代型デジタルサイネージ広告メディアの可能性を検証しています。同プロジェクトでは、販売・編成（制作）・配信・効果測定を一元的に行うことで、デジタルメディアの特徴を生かした、リアルタイム性の高い、フレキシブルな対応を実現しています。

※「デジタルサイネージ推進プロジェクト」構成メンバー（11社：五十音順）

- (株)小田急エージェンシー、(株)京王エージェンシー、(株)京急アドエンタープライズ、
- (株)京成エージェンシー、(株)ジェイアール東日本企画、西武鉄道(株)、
- (株)東急エージェンシー、東京都交通局、東武鉄道(株)、(株)メトロアドエージェンシー、
- (株)モノレールエージェンシー

2. 設置箇所・台数 以下の通り

電鉄	台数	設置駅
小田急電鉄	1	新宿駅
京王電鉄	2	新宿駅・渋谷駅
京成電鉄	1	京成上野駅
京浜急行電鉄	1	品川駅
西武鉄道	1	池袋駅
東京急行電鉄	1	渋谷駅
東京地下鉄	4	表参道駅・銀座駅
東京モノレール	3	モノレール浜松町駅・羽田空港第1ビル駅・羽田空港第2ビル駅
東京都交通局	2	六本木駅
東武鉄道	2	池袋駅
東日本旅客鉄道	9	東京駅・新宿駅・渋谷駅・池袋駅・品川駅・恵比寿駅
合計	27	

